



C-23 取扱説明書

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

1. 各部の名称
2. 機材の据付
3. 本体への給水
4. 原料の充填
5. 販売準備 流量調整
6. 販売画面の見方
7. 販売方法
8. 日常の取り扱い
9. 毎日のお手入れ
10. 週に一度のお手入れ
11. コーヒー豆の交換
12. しばらくご使用にならない場合
13. エラーコード解除手順
14. よくある問い合わせ、困ったときは



1. 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

警告表示の種類と意味

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

● 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取扱いをしたときに、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容です。

● 守っていただく内容について、絵表示で説明しています。

	このような絵表示は、 してはいけない 「禁止」内容です。	 改造禁止	 接触禁止
		 火気厳禁	
	このような絵表示は、 必ず実行していただく 「強制」内容です。	 アース接続	
		 電源プラグを抜く	
	このような絵表示は、 気をつけていただく 「注意喚起」内容です。	 破裂注意	 感電注意
		 指をはさまないように注意	
		 発火注意	 高温注意

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

警告



- 開棚、据付け、移動は、専門の据付け技術者またはお買上げ先に依頼してください。不完全な据付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
- 製品重量に充分たえられる丈夫で水平な床やテーブルに据付けてください。不完全な据付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
- 扉を開けて清掃、修理、メンテナンスを行う場合は、電源を切ってから行ってください。電源を切らずに作業を行うと感電、火災、けがの恐れがあります。
- 修理、廃棄は専門の修理技術者またはお買上げ先に依頼してください。修理部品は純正部品をご使用ください。修理に不備があると感電、火災、けがの恐れがあります。

安全上のご注意

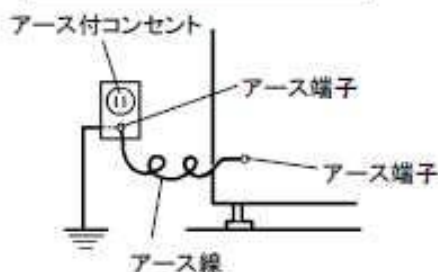
警告



- 安全のため、アースを必ず接続してください。
アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。
- アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

- この製品は水を扱う機械であり、未然に事故を防止するために漏電しゃ断器を設けています。
漏電しゃ断器は漏電した事を察知すると直ちに電気を止めるために安全です。
- アースを取付けないと、漏電しゃ断器が正しく働きません。
必ず取付けてください。
- アース工事はお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

アース端子付きコンセントのとき



- 機械の上に乗ったり、揺すったり、傾けたりしないでください。
転倒事故の恐れがあります。
- 上には物を置かないでください。
落下事故の恐れがあります。
- 水に浸かった電気部品はそのまま使用しないでください。水分、泥、ごみ等を完全に除去して絶縁が回復していることを確認してから修理専門技術者が組立ててください。
感電や火災の恐れがあります。
- 子供達の遊び場に放置しないでください。
転倒事故によるけがの恐れがあります。



- 濡れた手で電源プラグや内部のスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源コードを破損したり、重いものを乗せたり、加工したり、引っばったりしないでください。
破損して、感電や火災の恐れがあります。
- 電気部品は水をかけたり、水洗いしたりしないでください。
感電の恐れがあります。



- シンナーなどの可燃物や可燃性ガスを製品の近くで使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- 内部にラッカー、ペイント、シンナー、可燃性スプレーなどの可燃物を入れしないでください。また、近くで取扱わないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- 周辺で、都市ガスなどのガス漏れが発生した場合は製品や電源プラグには触れずに窓を開けて換気を行ってください。
爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 無断で本機を改造しないでください。
事故発生の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告



- 異臭・発煙・発火等の異常時は、直ちに電源プラグを抜き、専門の修理技術者またはお買上げ先に連絡してください。異常のまま運転を続けると感電、火災の恐れがあります。

⚠ 注意



- つぎのような場所に据付けるときは、お買上げ先にご相談ください。
 - ・潮風や腐食性ガスにさらされる場所
 - ・揺れや振動の多い場所
- つぎのような場所に設置するときは、法律に適合しなければなりません。適合条件が不明なときには、所轄の官庁にご相談ください。
 - ・防災の妨げとなる場所
 - ・消防用設備の周辺
 - ・可燃物や可燃性ガスを扱う場所(ガソリンスタンド等)
 - ・避難用の道路及び施設
- 警告表示類は常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。見にくくなると事故発生の原因になります。
- 清掃するときは、電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電、火傷、けがの原因になります。
- 清掃などで取りはずした配管部品(飲料ホースなど)は、元の状態に戻してください。
- ホースは15mm以上差し込んでください。水もれ事故の原因になります。
- 長期間ご使用にならない時は、必ず排水して電源プラグをコンセントから抜いてください。水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。
- 子供だけで使用したり、幼児の手が届く所で使用しないでください。火傷の原因になります。
- 本機を廃棄するときは、専門の業者またはお買上げ先へ依頼してください。放置による環境汚染や事故発生の原因になります。
- ホース劣化の恐れがあるため、サンニーション時にお湯を使用する際は、40℃以下でお使いください。



- 国内で使用する目的で設計されています。国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火、発煙、焼損の原因になります。
- 次のような場所の機外配管は保護をしてください。
 - ・50℃以上の高温部や湯のかかる場所
 - ・踏みつける恐れのある場所
 - ・ねずみ等にかじられる場所配管の破れ等により、液もれの原因になります。
- 上に重い物や水の入った容器などを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因になります。



- 電源容量は必ず機器の定格に合わせてください。許容電圧・電流の小さい電源を使用すると、火災の原因になります。
- 電源コンセントは他の製品と共用しないでください。延長コードの使用やたこ足配線は、火災の原因になります。
- 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
- 電源コードは束ねて使用しないでください。発熱して火災や感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意



- 電源コードの被覆が溶けることがありますので熱器具を近づけないでください。火災、感電の原因になります。
- 漏電しゃ断器は月に1回以上テストボタンを押して電源が切れることを確認してください。切れない場合は専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。使用を続けると感電の原因になります。
- 漏電しゃ断器がたびたび動作したときは、専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。使用を続けると感電や火災の原因になります。

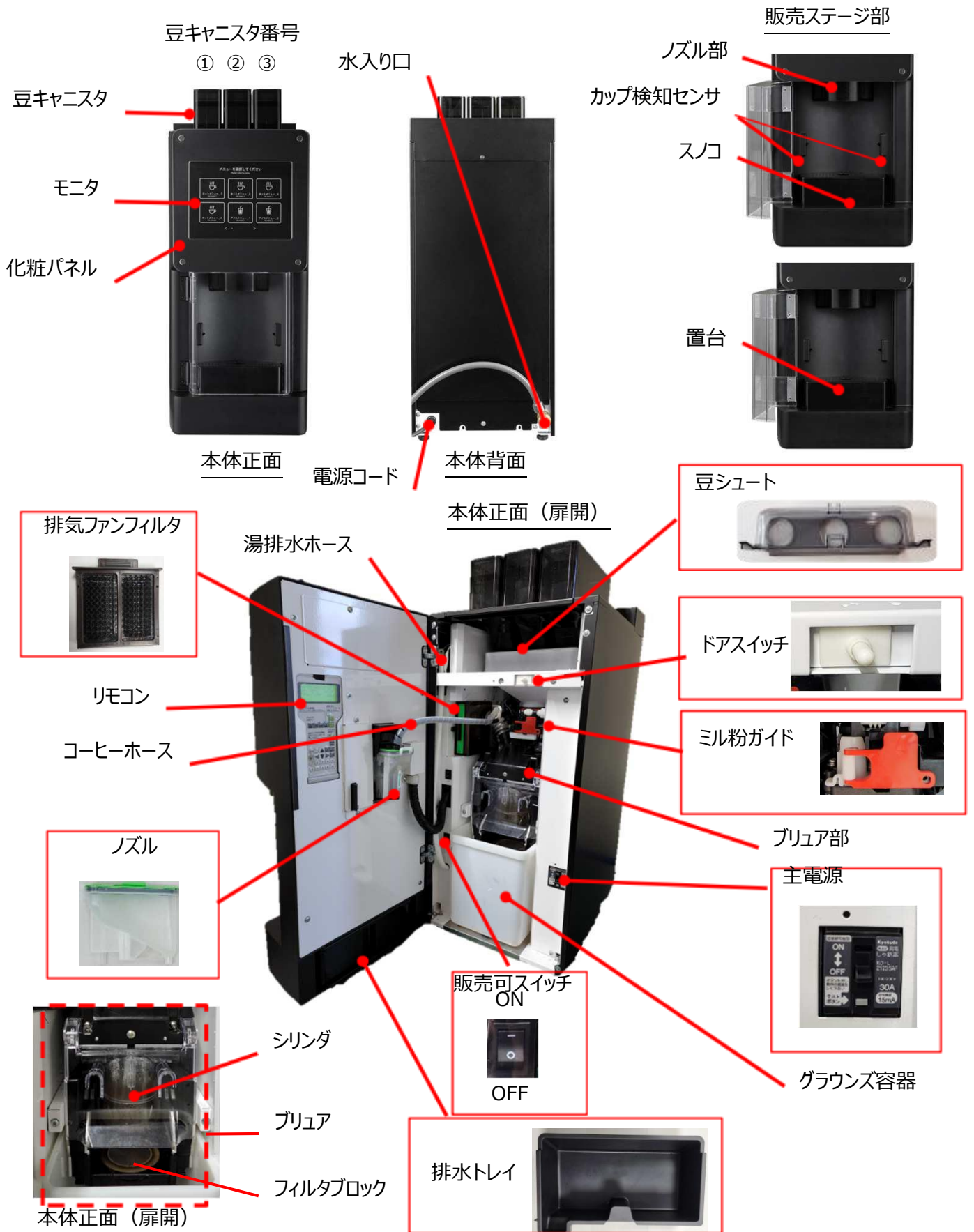


- 内部の動作部に触れないでください。けがの原因になります。



- 温水タンク、加熱装置およびその接触部分にさわらないでください。高温のため火傷の原因になります。
- 熱湯が出ますのでそそぎ終わるまで手を入れないでください。火傷の原因になります。
- 排水ホースから熱湯が出ますので注意して使用ください。火傷の原因になります。

1. 各部の名称



2. 機械の据付①

- (1) 食品衛生上、屋内に据え付けてください。
- (2) 輸送・運搬時のご注意
製品を輸送・運搬される場合は必ず本体下部を持ってください。
- (3) レベリング調整
底面には4個のレベリング調整脚がついています。4個のレベリング調整脚を回して、機械の傾きを前後左右とも1°以内に調整してください。
- (4) 電源・アース接続
本機は、アース端子付の3P電源プラグです。専用コンセントに接続してください。
- (5) 水道配管（カセット給水はP9を参照してください）
 - ①水道配管工事は、水道局の指定工事店に依頼して行ってください。
 - ②水道と機械の間に手動のストップ弁（元栓）を必ず取り付けてください。
 - ③水道圧は最低0.075MPa必要です。また最高水圧が0.4MPaを超える場合は減圧弁を取り付けてください。
 - ④水道給水量は機械入口にて最低0.5L/分必要です。
 - ⑤凍結のおそれのあるところでは、配管及び弁の保温工事を実施ください。
- (6) 水配管の接続
本機背面の給水口にシールテープを巻きつけて付属のエルボを接続します。
- (7) 輸送用部品の取り外し
扉を開けると、小物部品をテープで止めたり、可動部品を緩衝材で固定している箇所があります。テープは外し、緩衝材は取り外してください。
- (8) 温水タンクの輸送チューブの取り外し
 - ①本体扉を開け、天板（前側）を固定しているネジ（1本）を緩め、天板（前側）を手前に少しスライドさせてから、取り外します。



2. 機械の据付②

②天板（奥側）の両サイドの固定ネジ（2本）を外し、天板奥を取り外します。



③天面左奥にある輸送チューブを取り外し、天板奥側を元に戻し、固定ネジ（2本）をしめます。



※輸送チューブは撤去時、輸送時に必要となりますので大切に保管ください。

(9) 豆キャニスタの取付

豆キャニスタ裏のオーガの向きとモータの向きを合わせ、手前からスライドさせて豆キャニスタを取り付けます。



豆キャニスタ裏オーガの向き



モータの向き



(10) 豆シュートの取付（※流量調整を実施する場合はP13を参照ください）
シュートの丸い穴を、吐出口に合わせ、手前からスライドさせて取り付けます。
カチッと音が鳴り、きちんと取り付けられたことを確認してください。



(11) 天板（前側）の取り付け

天板（前側）を元に戻し、固定ネジ（1本）をしめます。

2. 機械の据付（カセット給水）

- (1) 輸送部品の取り外し、温水タンク輸送チューブの取り外しをします。（P7）
- (2) 給水タンク、水ポンプ、水フィルタ、ブレードホースを接続します。
※パッキン忘れにご注意ください。
- (3) 水ポンプ動作確認
水ポンプの電源を入れ動作させ、ブレードホースから水が出ることを確認し一度電源を切ります。
- (4) ブレードホースをコーヒーマシンに接続します。
※パッキン忘れにご注意ください。
- (5) 水ポンプの電源をいれます。

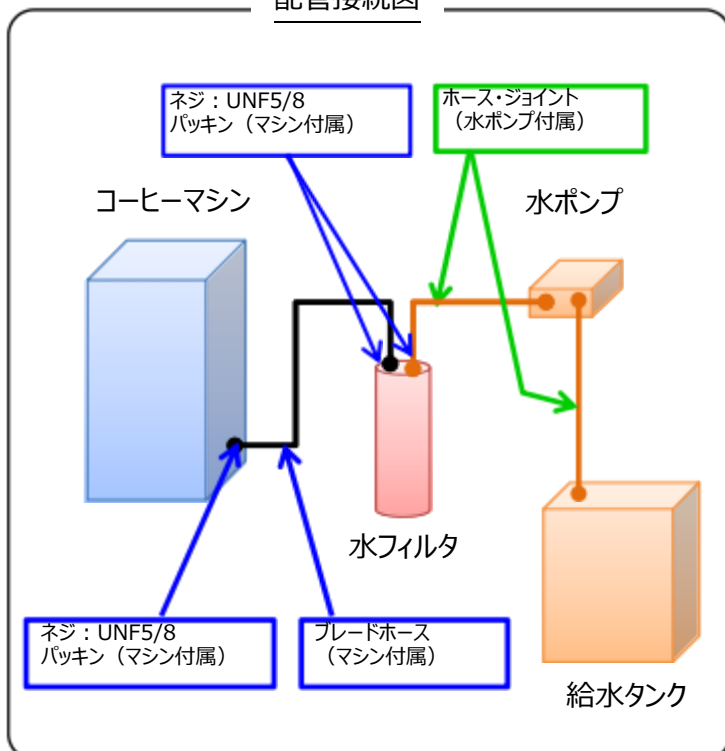
②の接続図



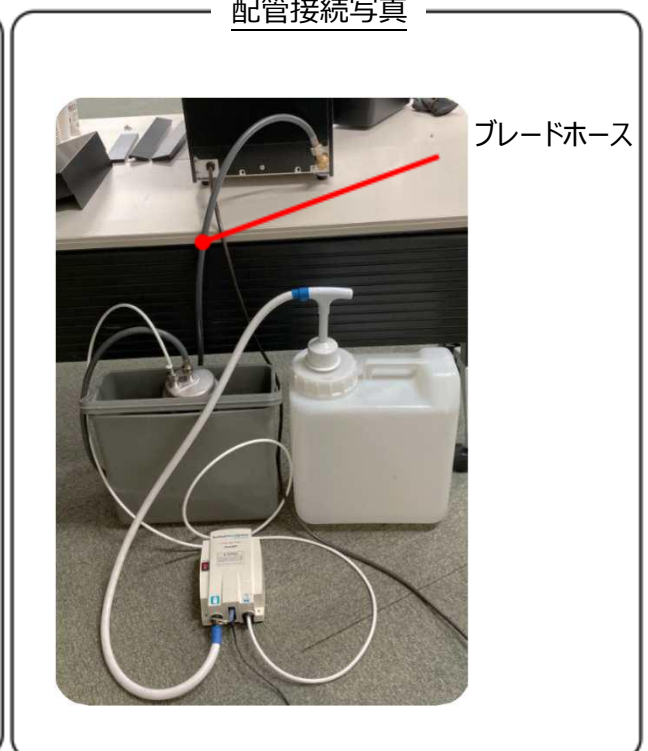
③の通水確認



配管接続図



配管接続写真



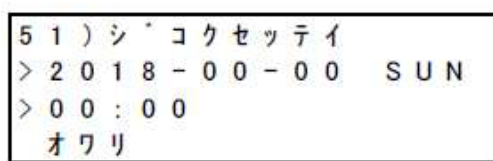
3. 本体への給水

(1) 電源スイッチの操作

- ①主電源スイッチ（ELB）のレバーをON側にします。
- ②販売可スイッチを「販売可」側にします。

(2) 時計データを設定します（リモコン操作）

- ①テンキーを使いパスワード「9999」を入力します。
- ②「設定」キーを押したあと「51」を入力します。
- ③テンキーを使い現在の日時を入力して、「記憶/動作」ボタンを押します。



51) ショクセツテイ
> 2018-00-00 SUN
> 00:00
オワリ



(3) 温水タンクへの給水

- ①温水タンクの適正水位まで自動的に給水されます。

給水が完了するとお湯を沸かします。

- ②所要時間の目安は次のとおりです。

給水所要時間：約3分

温水タンクの沸上げ：約20分

※湯温が売切れ温度（85℃）以上となると販売可能となります。

(4) 食衛売切ホールドの解除

立ち上げ時、湯タンクの温度が低い場合、食衛ホールドとなります。
リモコンの「食衛リセット」ボタンを押して解除してください。

※食衛売切ホールドの解除をしないと、売切動作のまま販売ができません。

※本機設置後に再度「食衛売切ホールド」が発生した際は、一度、温水タンクのお湯を全て抜いて新しく給水してから食衛リセットボタンを押してください。

4. 原料の充填

(1) 豆キャニスタの配列

配列は下記の通りです。豆キャニスタの収容量は500 g です。

豆① 豆② 豆③



(2) 原料の充填

豆キャニスタフタを開け、コーヒー豆を充填します。

※豆キャニスタ、豆キャニスタフタは豆①、豆②、豆③ともに共通です。

※豆キャニスタの外に原料をこぼさないように注意してください。

清掃用具一覧

- ・白L字ブラシ : ミル粉ガイド裏清掃用
- ・白ブラシ : フィルタブロック周辺 (飲料が触れる箇所専用)
- ・黒ブラシ : プリユア周辺、ダクト (汚れるところ)

5. 販売準備～流量調整①

前面のタッチパネルで操作を行います

各原料や湯を一定時間吐出し、その吐出量を測定し入力します。

(1) 湯の流量調整

流用確認を行う場合は次の手順を「レギュラー湯」、「シャワー湯」、「添加湯」各々実施してください。

- ①メスシリンダーを準備し、ノズル下にセットします。
- ②リモコンのテンキーを使いパスワード「9999」を入力します。
- ②リモコンの「設定」ボタンを押し、テンキー「37」を押します。
- ③矢印カーソルを、吐出させたい項目にリモコンの△▽で移動させて「記憶/動作」ボタンを押すと、選択した項目のお湯が一定時間吐出します。
- ④メスシリンダーの湯量を測定します。
※1回目のお湯は捨ててください。ホースの乾燥状態により量が少なくなります。
※3回程度測定をして平均値を求めます
- ⑤リモコンの「データ入力」を押し、測定した湯量をテンキーで入力し「記憶/動作」ボタンを押します。

③矢印カーソルをレギュラー湯に合わせた状態

3 7) リ ヲ リ ヲ リ ヲ ナ ヲ リ セ イ	
> レ キ ッ ラ - 1	1 4 0 m L
シ ャ ワ - 1	1 0 3 m L
テ ン カ 1	0 5 0 m L

⑤「レギュラー湯」が選択された状態で、データ入力を押した状態

3 7) リ ヲ リ ヲ リ ヲ ナ ヲ リ セ イ	
> レ キ ッ ラ - 1	1 4 0 m L
シ ャ ワ - 1	1 0 3 m L
テ ン カ 1	0 5 0 m L

リモコン正面



5. 販売準備～流量調整②

前面のタッチパネルで操作を行います

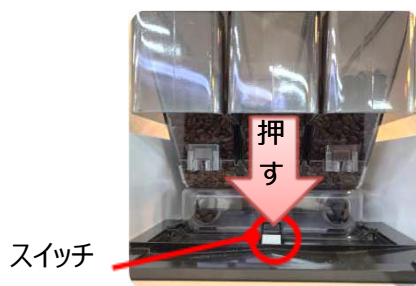
正しい原料吐出量を得るために、各原料の吐出レート（単位時間あたりの吐出量）を測定し、このデータを記憶させる必要があります。

(2) 豆原料の吐出量測定

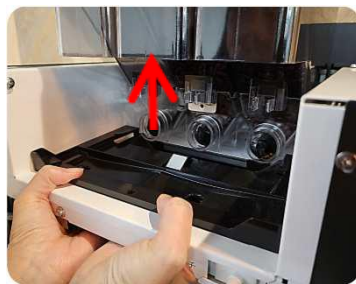
- ①あらかじめ、はかりと紙コップを用意します。
- ②本体扉を開け、天板（前側）を固定しているネジ（1本）を緩め天板を手前にスライドさせます。



- ③豆シュート下の白いスイッチを下に押しながら、豆シュートを手前に少し引き、その後、上に持ち上げるようにして豆シュートを取り外します。



- ④シュート下の板を、下から上に持ち上げるようにして取り外します。



- ⑤リモコンの「設定」ボタンを押し、テンキー「37」を押します。

5. 販売準備～流量調整③

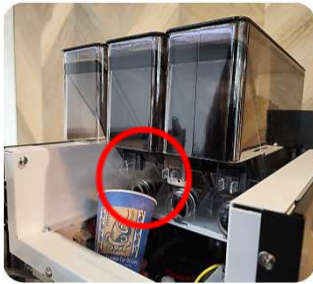
⑥矢印カーソルを、吐出させたいキャニスタ番号にリモコンの△▽で移動させます。

豆① 豆② 豆③



3	7)	リ	ユ	ウ	リ	ヨ	ウ	チ	ヨ	ウ	ゼ	イ			
>	マ	×	1									1	5	.	0	g
	マ	×	2									1	5	.	0	g
	マ	×	3									1	5	.	0	g

⑦計測する豆キャニスタの吐出口に豆を受ける容器を準備した状態で、リモコンの「記憶/動作」ボタンを押すと5秒間コーヒー豆を吐出します。



⑧最初の3回分は無視し、その後、5回計測し吐出平均を求めます。

⑨求めた吐出平均をリモコンに入力します。

リモコンの「データ入力」を押し、測定した豆量をテンキーで入力し「記憶/動作」ボタンを押します。

★以上の手順を原料全てで実施します。

※測定が終了したらシュート下の板と豆シュートを元の位置に取り付けてください

※キャニスタの吐出口には絶対に指を入れないでください。指が挟まれて怪我をする恐れがあります。

5. 販売準備～販売画面の設定

販売するメニューを画面に表示します。

- (1) リモコンでPW【9999】を入力します。
- (2) 販売画面の右上の角（★）を3秒間長押ししてメンテナンス画面に入ります。
- (3) PW画面が表示されますので「1234」と入力して右下の決定をタッチします。
- (4) メインメニュー画面の右下の「次へ」を押して2ページ目を表示します。
項目の中から「販売画面設定」をタッチします。
- (5) レイアウト設定をタッチします。
- (6) メニューを表示させたい場所をタッチします。
- (7) 機材に設定されているメニューが表示されますので、その中から選びます。
※同じメニューを複数個所にレイアウトすることは可能です。（右上と右下等）
※未設定箇所は、販売画面に何も表示されません。

②販売画面



③パスワード画面



③メインメニュー画面1ページ目



④メインメニュー画面2ページ目



⑤レイアウト設定選択



⑥レイアウト選択



⑦メニュー選択



※設定されている内容をクリアする場合は、右上の「クリア」ボタンをタッチしてください

5. 販売準備～（参考：メニュー名一覧）

レシピ No.	販売画面画像	メニュー名 豆焙煎度 豆使用量 (g) 抽出量 (ml)	レシピ No.	販売画面画像	メニュー名 コーヒー豆焙煎度 豆使用量 抽出量
1	 オリジナルブレンドコーヒー Original Blend Coffee S	オリジナルブレンドS 中深煎り 豆①：9.5g 130ml	7	 オリジナルブレンドコーヒー Original Blend Coffee MEGA	オリジナルブレンドメガ 中深煎り 豆①：33g 490ml
2	 オリジナルブレンドコーヒー Original Blend Coffee M	オリジナルブレンドM 中深煎り 豆①：12g 163ml	8	 濃厚ドリップコーヒー Strong Drip Coffee	超濃厚ドリップ 深煎り 豆③：15g 30ml
3	 オリジナルブレンドコーヒー Original Blend Coffee L	オリジナルブレンドL 中深煎り 豆①：17.3g 245ml	9	 アイスコーヒー Iced Coffee S	アイスコーヒーS 深煎り 豆③：13g 85ml
4	 マイルドブレンドコーヒー Mild Blend Coffee S	マイルドブレンドS 浅～中深煎り 豆②：10g 130ml	10	 アイスコーヒー Iced Coffee M	アイスコーヒーM 深煎り 豆③：15g 100ml
5	 マイルドブレンドコーヒー Mild Blend Coffee M	マイルドブレンドM 浅～中深煎り 豆②：12.5g 163ml	11	 アイスコーヒー Iced Coffee L	アイスコーヒーL 深煎り 豆③：23g 165ml
6	 マイルドブレンドコーヒー Mild Blend Coffee L	マイルドブレンドL 浅～中深煎り 豆②：18g 245ml	12	 アイスコーヒー Iced Coffee MEGA	アイスコーヒーL 深煎り 豆③：36g 285ml

※豆量、抽出量は目安です。

※詳細のレシピ設定値はレシピ一覧表をご確認ください

6. 販売画面

①メニュー一覧



- ①販売画面設定でレイアウト設定したメニューが表示されます。
- ②レイアウト設定されていない箇所は何も表示されません。
- ③コーヒー豆が売切れで販売できないメニューはグレーアウトで表示します。
- ④メニュー選択すると、対象メニュー画像のアウトラインが白に変わり抽出開始します。
- ⑤コーヒー豆の売切れは、画面上部に表示します
- ⑥ページ表記

7. 販売方法

- ① ステージカバーを開けます
※画面：待機動画
orメニュー表示



- ② 容器をセットします。
画面：待機動画
orメニュー表示

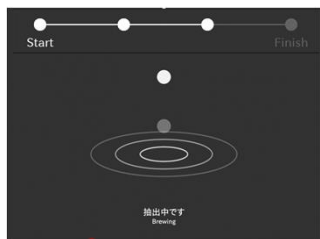


- ③ メニューを選びます。
画面：メニュー表示



＜ご注意＞
待機動画時に画面タッチしないとメニュー選択画面へ切り替わりません。

- ④ 抽出中
※画面：抽出中動画



完成までの時間イメージをインジケータで表示

- ⑤ 抽出完了
※画面：できあがり動画



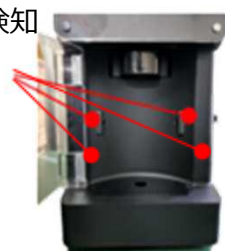
- ⑥ ステージカバーを開け
容器を取り出します。



容器有り無し検知

- ※ステージ部の左右センサで容器を検知します。
- ※センサ位置（120mm）より低い容器には付属の「置台」をご使用ください。
- ※60mm以下の容器は、置台の有無にかかわらず、検知できません。
- ※透明なグラスは検知しません。容器有り無し検知を無効に設定してご使用ください。

カップ検知
センサ



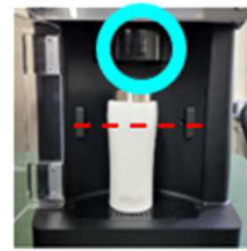
ステージ部



カップ(55mm)
台無し：検知不可



カップ(80mm)
台有り：検知可能



マイボトル(180mm)
台無し：検知可能

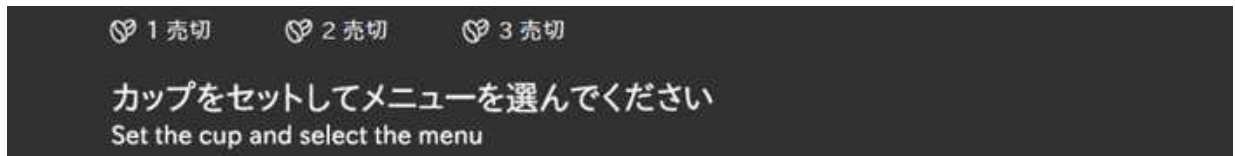
8. 日常の取り扱い

(1) コーヒー豆の補充

豆キャニスタ内のコーヒー豆が少なくなると、販売画面で売切れ表示をします。

(豆1売切れ、豆2売切れ、豆3売切れ)

該当の豆キャニスタのフタを開けて、豆を補充してください。



(2) グラウンズ容器満杯時の対応 (30杯販売毎に画面に表示)

グラウンズ容器が満杯になると、全画面でお知らせし、販売不可状態となります。



- ① 本体扉を開け、グラウンズ容器を取り出し、グラウンズ（カス）を捨てます。
- ② グラウンズ容器をお湯または中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水気を切ります。
- ③ グラウンズ容器を元に戻し、リモコンの「カスリセット」ボタンを押してください。



※グラウンズを捨てずに「カスリセット」ボタンを押すと販売に支障をきたすおそれがあります

※グラウンズ容器を本体より完全に取り出さないと「カスリセット」できません

※販売に支障をきたすおそれがありますので容器にビニール袋等は使用しないでください

※お知らせの前にグラウンズを廃棄、清掃した場合も「カスリセット」を押してください

9. 毎日のお手入れ

項目一覧

①取り外し部品の洗浄

シリンダ



グラウンズ容器



ノズル



排水トレイ



置台、スノコ



②本体内外の清掃、ミル周辺、フィルタブロック周辺

③手動リンスの実施（画面）

④排水トレイの洗浄

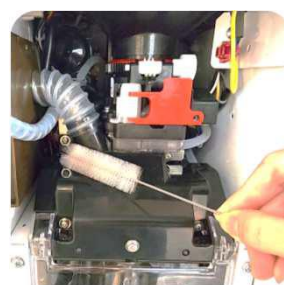
⑤薬剤洗浄

手順ガイドラインは扉正面のタッチパネルに表示されます

(1) ミル粉ガイドの清掃

本体扉を開け、ミル粉ガイド裏の穴に乾いたL字ブラシを上から挿し、上下に動かし内部に付着している粉を払い落とします。
ミル周辺の原料の残りや汚れを、乾いたブラシを使って取り除きます。

ミル粉ガイド裏

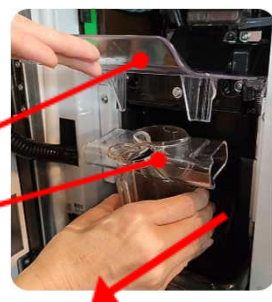


(2) シリンダの取り外し、フィルタブロック周辺の清掃

シリンダカバーを開け、シリンダを手前に取り外します。

付属している清掃ブラシを使い、フィルタブロック周辺の汚れを取り除きます。

シリンダカバー



シリンダ



9. 毎日のお手入れ

(3) グラウンズ容器を取りだし、中のグラウンズを棄てます。



グラウンズ
容器

(4) ノズルを取り外します。
ノズル本体を少し持ち上げ、手前に引いて取り外します。
本体からノズルに伸びている飲料ホースを抜きます。



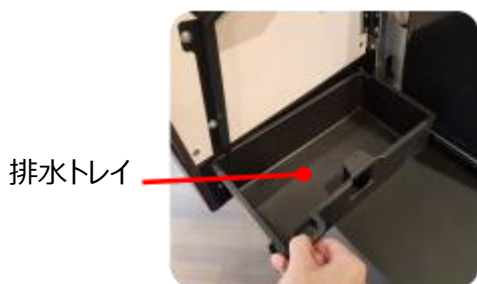
ノズル本体



飲料ホース

※飲料ホースを抜く際、飲料がホースから垂れる可能性がありますのでご注意ください。

(5) 排水トレイ、スノコ、置台を取り外します。
扉下側にある排水トレイを取り出します。
扉正面のステージカバーを開け、スノコと置台を取ります。



排水トレイ



(6) 販売ステージ周辺を清掃します。
湯を含ませた布をよく絞り、ステージカバーおよびステージ内側、センサ周辺の汚れを拭き取ります。その後、乾いた布で水分を拭き取ります。



カップ検知センサ部

※センサ部が汚れていると、カップ検知に支障をきたすおそれがあります。

9. 毎日のお手入れ

(7) 本体内外の清掃をします。

グラウンズ容器の下等、内部にグラウンズこぼれや汚れがあれば、湯を含ませた布をよくしぼり、汚れているところを拭き取ります。

本体、タッチパネル部も同様に汚れがある場合は拭き取ります。

その後、乾いた布で水分を拭き取ります。



※アルコール溶剤系の洗剤は使用しないでください。

(8) 取り外した部品を洗います。

シリンダ、グラウンズ容器、ノズル、排水トレイ、スノコ、置台を洗います。

お湯または中性洗剤をつけたスポンジ等で洗い、水気を切ります。

(9) シリンダを取り付けます。

シリンダカバーを開けシリンダを装着し、シリンダカバーを閉めます。



取手
(前側)



(10) グラウンズ容器をセットして、リモコンの「カスリセット」ボタンを押します。



カスリセット

※グラウンズを捨てずに「カスリセット」ボタンを押すと販売に支障をきたす恐れがあります。

※グラウンズ容器を本体より完全に取り出さないとリセットはできません。

※販売に支障をきたす恐れがありますのでビニール等は使用しないでください。

9. 毎日のお手入れ

(1 1) ノズルを取り付けます。

- ①ノズル本体とノズルふたを組立ててから、本体から出ている飲料ホースをノズルに差し込みます。
- ②ノズルフタを上部に充て水平に入れ、下に差し込みます。



ノズルフタ

ノズル本体



(1 2) 排水トレイ、スノコ、置台を元に戻します。

(1 3) 薬剤リンスを実施します。

販売画面の右上を3秒以上長押しします。
パスワード画面が表示されますので「1234」を入力して決定を押します。
最初に表示されるメインメニューから「清掃手順リンス」をタッチし
「コーヒーライン薬剤洗浄」表示をタッチしてください。

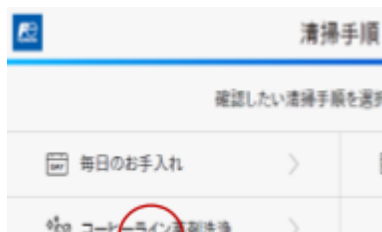
販売画面



パスワード画面



メインメニュー画面



(1 4) フィルタの中心に薬剤を置き、排水トレイが空であることを確認して「リンス開始」をタッチしてください。

[!] 薬剤は当社販売のものを必ず使用してください。

[!] 洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用してください。

9. 毎日のお手入れ

(15) リンス中は下記画面が表示されます。(約5分程度)



[!] リンス実施中は絶対に扉を開けないでください。

[!] リンス実施中に扉を開けた場合はリンスが中断します。万一中断した、させた場合は薬剤を置かずにリンスを再開してください。

(16) リンスが終了すると、手動リンス開始画面に戻ります。

※下の「販売画面」をタッチして販売画面に戻ります。

排水トレイにたまった廃液を捨て、元の位置に戻します。



リンスで使用した廃液が排水トレイにたまります。

廃液を捨て、中性洗剤を使用してスポンジ等で洗って元の位置に戻してください。

10. 週に一度のお手入れ

項目一覧

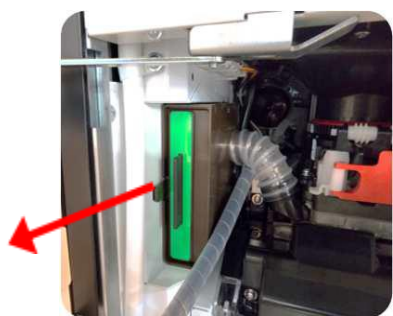
- ①排気ファンフィルタの清掃
- ②豆キャニスタの清掃

手順ガイドラインを参照にすすめてください。

(1) 排気ファンフィルタの清掃

本体扉を開け、主電源をOFFにします。

ファンモータが停止したのを確認してから、左上部にある排気ファンを取り出します。排気ファンフィルタをお湯で洗浄後、水気を切って取り付け、主電源をONに戻します。



※排気ファンフィルタに原料が固着していると排気能力が落ち、原料シュート内の原料詰まりの原因となります。

※電源OFFの時間が長いと温水タンクの温度がさがり、販売に支障をきたす恐れがあります。

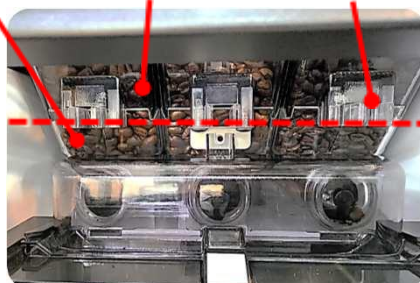
(2) 豆キャニスタの清掃

豆キャニスタ内の豆が、上部のスモーク色部より下に収まる状態で作業を行ってください。

本体扉を開け、左の固定ネジを緩め、天板を手前にスライドさせます。

豆キャニスタ前面のつまみを両サイドからつまみ、豆キャニスタを上側を手前に少しスライドさせ、上に持ち上げて取り外します。

透明 スモーク つまみ



ふた、および豆キャニスタを、中性洗剤をつけた柔らかいスポンジを使って汚れを落とします。その後、乾いた布で水分を拭き取り、充分乾燥させてから元の状態に組み立てます。

1 1. コーヒー豆交換

- (1) 天板を取り外します。
本体扉を開け、左側にある固定ネジを緩め、天板を手前にスライドして外します。



- (2) 豆シュートを取り外します。
豆シュート下の白いスイッチを押しながら、豆シュートを手前に少し引き、その後、上に持ち上げるようにして取り外します。



- (3) 豆キャニスタを取ります。
①交換する豆キャニスタに付属のキャップを取り付け、豆キャニスタの中の豆が吐出口からこぼれないようにします。
②交換する豆キャニスタを、手前に水平に引き出し取り外します。



- (4) 豆キャニスタ内の豆を取り出し、キャニスタを取り付けたあとで、新しい豆を充填し、キャップを外します。

※豆キャニスタの清掃は、【10.週に一度のお手入れ】を確認してください。

※豆キャニスタの取付方法は【2.機械の据付 (9)】を確認してください。

12. しばらくご使用にならない場合

- (1) 【9.毎日のお手入れ】【10.週に一度のお手入れ】を実施します。
- (2) 【11.コーヒー豆の交換】手順で豆キャニスタ内の豆を全て取り出します。
- (3) コーヒーマシンの主電源を落とします。
カセットタンクを使用している場合は、水ポンプの電源も落とします。
- (4) 接続されている各種ホースを外します。
ホース内の残水が出てきますので、バケツ等で受けてください
- (5) 湯タンクのお湯を抜きます。
10リットルくらい入るバケツを用意します。
 - ① 本体扉を開け、左側面にある湯排水チューブ（白）を取り出します。
※湯排水チューブはネジで固定されてます。



湯排水チューブ

- ② **ゴム手袋をした状態**で、湯排水チューブを折り曲げ先端のキャップをねじって外し、湯タンク内のお湯を抜きます。お湯はバケツで受けてください。



※熱湯が出てきますので、火傷に注意してください。

※排水作業時に排水ホースが熱くなりますので火傷に注意してください。

※お湯は約3リットル排水されます。

- (6) 天板を外し、輸送用保護チューブを取り付けます。
P7の（8）輸送用チューブの取り外しを参照してください。
- (7) 梱包テープ、梱包用緩衝材を取り付けます。

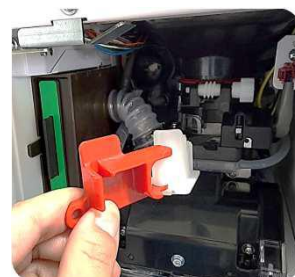
13. エラーコード解除手順

063 ミルモーターロック

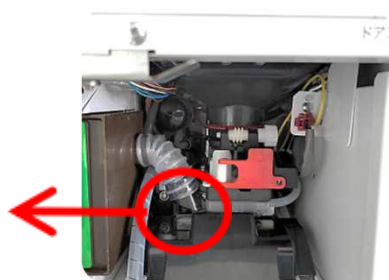
- (1) 主電源をOFFにします。
本体扉を開け、右側にある主電源をOFFにします。
- (2) ミル粉ガイドを外します。
ミル粉ガイドの赤いレバーを左に開き、少し上に持ち上げるようにして取り外します。



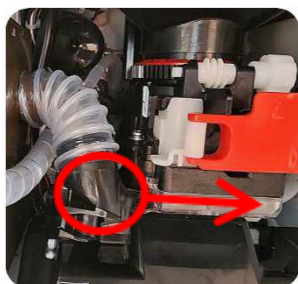
ミル粉ガイド



- (3) 周辺のコーヒー粉を取り除きます。
乾いたL字型の白いブラシを使用してミル下シュートを清掃します。
周辺のコーヒー粉、ミル粉ガイドに付着したコーヒー粉も取り除きます。
- (4) ダクトホースを清掃します。
ミル粉ガイドの左側にあるダクトの黒い部分を掴み、左に引いて取り外します。
乾いた黒いブラシを使用し、ダクトに付着したコーヒー粉を払い落とします。

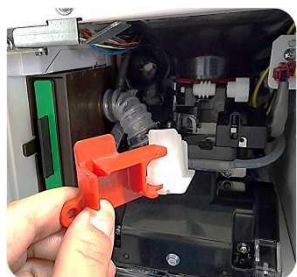


- (5) ダクトホースを差し込みます。
ダクトホースを右の突き当てまできちんと差し込みます。



13. エラーコード解除手順

- (6) ミル粉ガイドを取り付けます。
赤いレバーを左に開いた状態で、元の位置に取り付け、レバーを右に閉め、しっかり固定します。



- (7) ミルロック解除ボタンを押します。



- (8) 主電源をONにします。

14. よくあるお問合せ、困ったときは

◆コーヒーの量が多い、少ない

各部品の汚れにより、コーヒー吐出を阻害している可能性があります。
毎日のお手入れの手順に従って清掃を行ってください。

◆コーヒーが薄い、お湯しか出ない

ミル粉ガイド、ミル下シュート、ダクトにコーヒー粉が詰まっている可能性があります。
P31「068 ミルモーターロック」の手順に従って清掃を行ってください。

◆庫内にコーヒーが漏れている

ノズルに飲料ホースが正しく取り付けられていない可能性があります。
P23の(11)の手順に従って正しく飲料ホース、ノズルを取り付けてください。

◆容器がセットされているのに販売が出来ない

- ①センサー部が汚れている可能性があります。
P21の(6)の手順に従ってセンサー部の清掃を行ってください。
- ②透明なグラスや、照明の環境によって反応しない可能性があります。
(P18 容器有り無し検知参照)
リモコンの設定で、容器有り無し検知を無効に設定してお使いください。

◆グラウンズ容器が満杯じゃないのにエラーが出る

リモコンの「カスリセット」ボタンを押していない可能性があります。
グラウンズ容器を清掃後は必ずリモコンの「カスリセット」ボタンを押してください。

◆「カスリセット」ボタンが効かない

グラウンズ容器を完全に本体から取り出していない可能性があります。
完全に取り出さないと「カスリセット」が効かない仕組みとなっております。

◆モニターが熱くなる

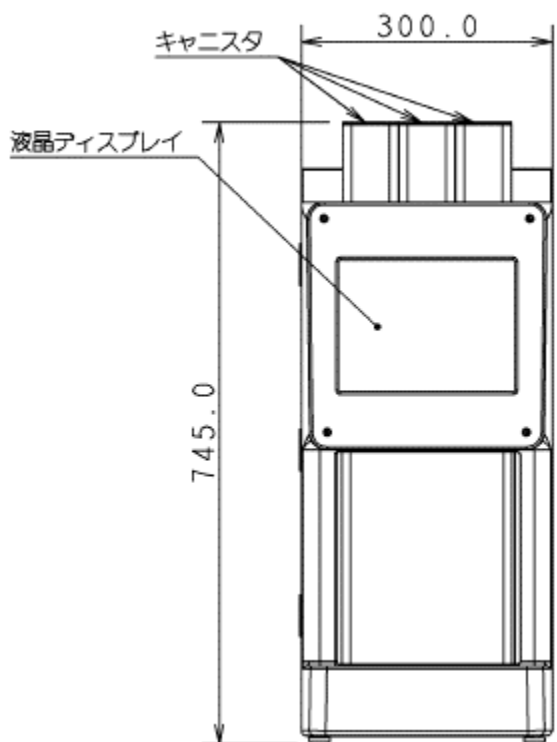
モニターに直射日光や強い熱があたっている可能性があります。
直射日光や強い熱が当たらない場所へ移設してください。

仕様

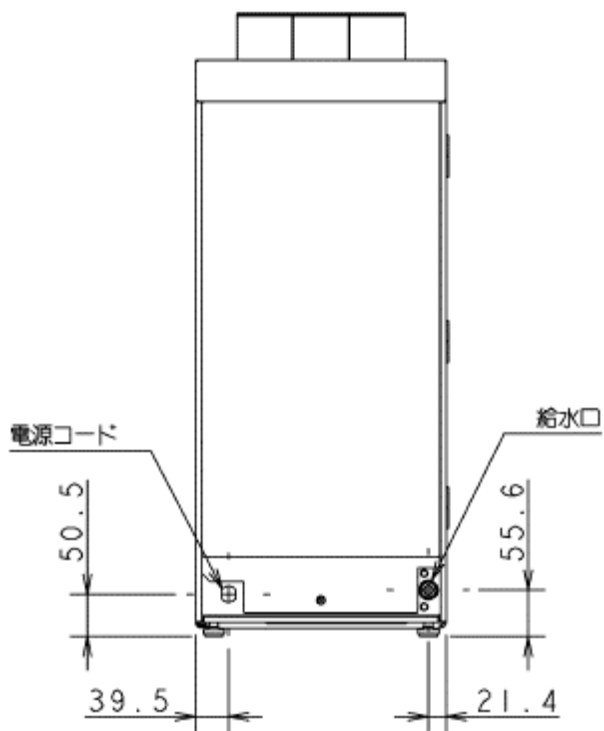
区分	項目	仕様
型式		C-23
外形寸法		W300mm×D580mm×H690mm ※豆キャニスタ含む高さ745mm
製品質量		41kg
扉	扉開閉方式	蝶番左開き
	販売方式	LCDタッチパネル（最大36メニュー表示）
	販売ステージカバー	付 販売中ロック機能、閉検知機能付き
販売機構	搬出方式	スクルー搬出式+ミル
	原料収容量	500g×3 ※重量は原料により多少異なります。
	グラウンズ容量	450g
	プリア	方式：微加圧抽出方式 フィルタ：超微細メッシュフィルタ ミル：モータ130W、カッティング方式
加熱装置	温水タンク容量	有効容量：3ℓ
	ヒーター	1000W
	湯温度	標準設定96℃
	温度過昇防止装置	沸騰防止サーモスタット 空焚き防止サーモスタット
給排水	給水方式	水道直結方式（水圧0.075～0.4MPa）
	給水設備	R1/2オスネジ
	排水方式	排水トレイ方式（容量1ℓ）
	水フィルタ	取付可能
電気定格	電源	単相100V 50/60Hz 15A
	消費電力	1.03kW
	電源コード長さ	3m
制御装置	入力装置	LCDタッチパネル方式
	表示機能・モニタ	液晶表示器、各種動作・売切れ・故障検知モニタ付
	サニタリー機能	手動リンス、オートリンス、薬剤リンス

※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

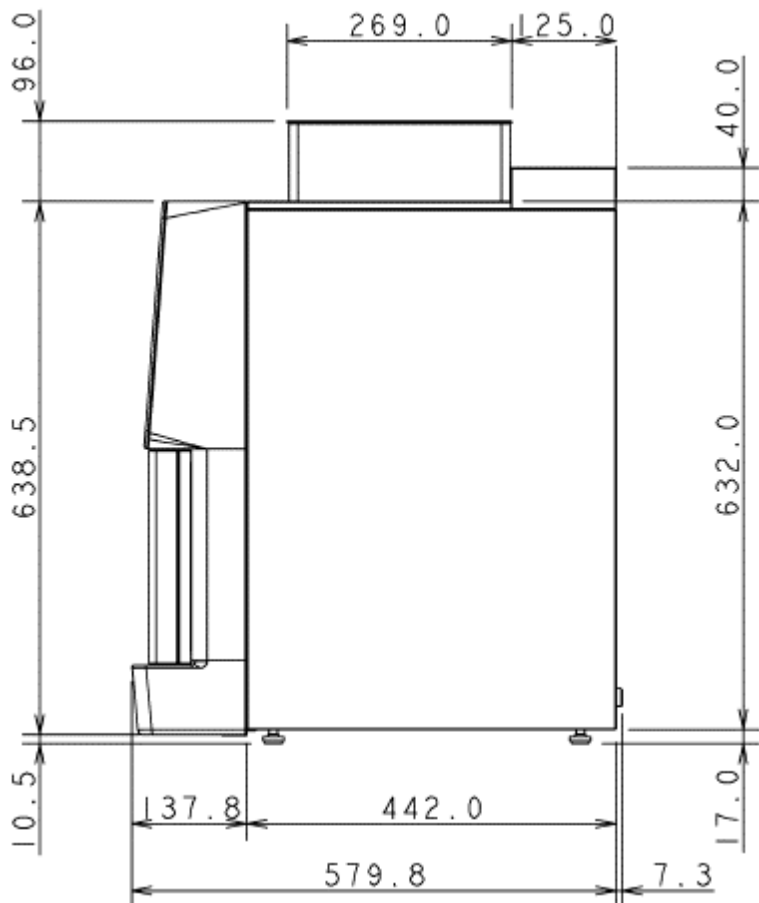
【正面図】



【背面図】

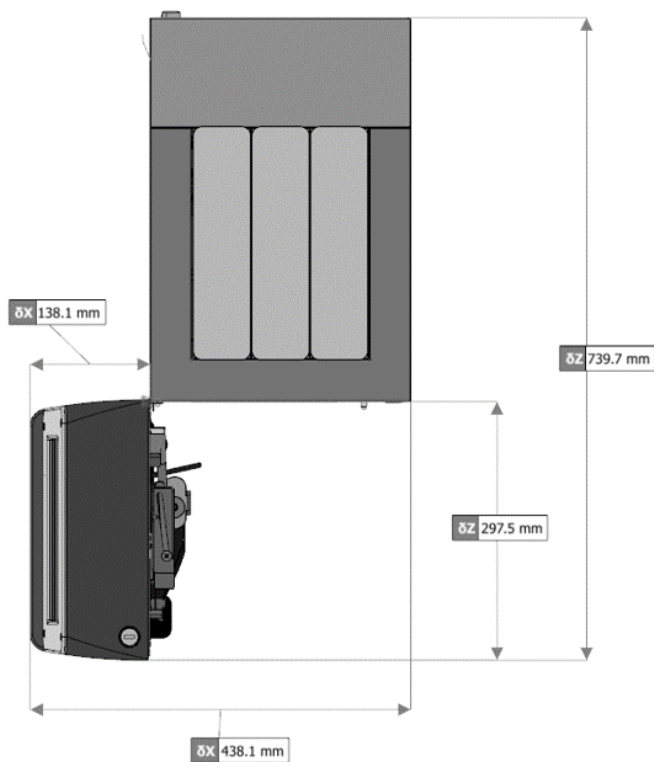


【側面図】



【上面図】

パネルが開いた状態



1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。

●販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合

お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間：365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 C-23 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況（出来るだけ詳しく） |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書（業務用マシン）		
品名	C-23	
シリアル番号		
保証期間		
設置日	年 月 日	
※お客様	お名前	
	住所	〒 電話（ ）

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「お預かり修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

- 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
- 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

- 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
- メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

- 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
- 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
- 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
- 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
- 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
- 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

- お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
- ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
- お客様のご都合により、修理受付日から1ヶ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

- 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかなき疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：〒224-0041神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22
<http://www.brewmatic.co.jp/>



240507